



肉や砂糖控え
糖尿病予防を
徳島大で講演会
徳島大学のゲノム研究

者らでつくるNPO法人「ゲノム徳島の公開講演会」で「糖尿病―予防と治療のための生活の知恵」が二十四日、徳島市蔵本町の徳島大学青藍会館であり、市民ら約八十人が耳を傾けた。

京都大学名誉教授で関西電力病院(大阪市)の清野裕院長が、世界の年

糖尿病予防について講演する清野さん。徳島大学青藍会館

間死亡者数では糖尿病がエイズを上回るなど、世界的に糖尿病患者が増えている現状を紹介。「糖尿病はインスリン不足で起こる病気。必ずしも太った人だけに起きるわけではない」と注意を呼び掛けた。

また、日本人の食生活について「肉や砂糖の摂取を控え、魚や昆布のだしを使ったうまみのある食事を心掛けてほしい」と話した。